



ドーバーの白い崖 (White Cliffs of Dover)

イングランド南東部、ドーバー海峡に面して位置するこの白い崖は、英国でも有数の自然のランドマークです。ドーバーはヨーロッパ大陸に最も近い地点にあり、航空旅行が普及する以前は大陸との往来における主要な港口として重要な役割を果たしてきました。そのため、高さ約 90 メートル、全長約 16 キロメートルにも及ぶ白亜の崖は、英国を訪れる人々が最初に目にする風景として、長く親しまれてきました。また、この崖は対岸のフランスからも確認することができ、英国の別名である「アルビオン (Albion)」の語源になったとも言われています。



世界の地域から

ドーバー／グラストンベリー (英国)



グラストンベリー修道院跡 (The ruins of Glastonbury Abbey)

グラストンベリーは、イングランド南西部サマセット州に位置する小さな町です。英国有数のパワースポットとして知られており、なかでも町の中心に建つグラストンベリー修道院跡は特に有名です。この修道院は中世イングランドを代表する修道院の一つで、かつては大きな権威と影響力を誇っていました。また、中世にはアーサー王と王妃ギネヴィアの墓がここにあると広く伝えられたことから、巡礼地としても大きな名声を集めました。16 世紀、ヘンリー 8 世による修道院解散によって建物は破壊されましたが、現在もその遺跡は歴史と精神文化を感じられる場所として、多くの人々に親しまれています。